

## 1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成30年3月22日

## 【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4673100105
法人名	有限会社 タンポポ福祉館
事業所名	グループホーム タンポポ福祉館
所在地	鹿児島県鹿児島市春山町1855番7 (電話) 099-278-7110
自己評価作成日	平成30年2月15日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	<a href="http://www.wam.go.jp/content/wamnet/pcpub/top/">http://www.wam.go.jp/content/wamnet/pcpub/top/</a>
-------------	---

## 【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	NPO法人自立支援センターかごしま福祉サービス評価機構
所在地	鹿児島県鹿児島市星ヶ峯四丁目2番6号
訪問調査日	平成30年3月5日

## 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

\*毎朝バイタルチェックを行ないその日の健康管理をし、ひとりひとりの状況に合わせケアプランに沿ったケアを行なっています。  
 \*筋力低下予防の為、毎日下肢マッサージ、リハビリ体操を行ない、また利用者同士、職員とのコミュニケーションを図る為、レク活動(脳トレ・ゲーム・外気浴)リズム体操など積極的に取り組んでいます。  
 \*行事食・誕生会食では四季の食材を用い利用者と一緒に調理しています。  
 \*運営推進会議では包括支援センターの方や社会福祉協議会の方、民生委員さんにご意見ご指導を頂き、時には敬老会や避難訓練等、イベントに参加してもらったり、また地域のお祭り等に参加させて頂いたりと交流を図っています。

- ・当ホームは町内会に加入し、地域行事の夏まつりへ参加したり、施設行事ではボランティアの踊りやバンド演奏・ハーモニカ演奏などを受け入れている。中学生の体験学習や高校生の実習も受け入れ、地域住民からの野菜や果物などの差し入れもあり、日常的に地域交流を図っている。
- ・災害対策として年2回消防署指導の下に夜間想定で重症者の毛布での搬送や歩けない利用者の避難誘導などを実施している。心肺蘇生などの講習も行っている。毎月第3日曜日に避難誘導や火災報知機の点検など、自主避難訓練を実施している。
- ・毎日、下肢マッサージや立位・歩行訓練、リズム体操を実施し、下肢筋力低下予防や体力向上に努めている。また、食前の嚥下体操で嚥下機能の維持を図っている。
- ・職員は入居者とゆっくり話をして思いを把握し、入居者との関係性を深め、コミュニケーションが図られている。
- ・職員の勤務年数も長く、お互いにサポートし合うなど人間関係がよく働きやすい環境である。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1	1	○理念の共有と実践  地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	解りやすい言葉で誰にでも理解できる理念を施設ない数ヶ所に掲示昼の申し送り時に唱和し理念に沿ったケアを実践しています。	理念は玄関・フロア・脱衣所に掲示し、パンフレットにも掲載している。理念を昼の申し送り時に唱和し、月1回の職員会議で振り返りをしながら、理念に沿ったケアの実践につなげている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい  利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	地域の行事に参加させて頂いたり施設での行事でボランティアをして頂いたり交流を図っています。	町内会に加入し、地域行事の夏まつりへ参加したり、施設行事ではボランティアの踊りやバンド演奏・ハーモニカ演奏などを受け入れている。中学生の体験学習や高校生の実習も受け入れ、地域住民からの野菜や果物などの差し入れもあり、日常的に地域交流を図っている。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献  事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	小中学生の体験学習や高校生の実習等を受け入れています。その際認知症の方の理解を深めて頂いています。	/	/

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
4	3	<p>○運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>2ヶ月に1回定期的に会議を開催している。包括支援センターの方にも出席して頂き地域ケアについてアドバイスを頂き地域の方職員皆さんで共有しています。民生委員さんには避難訓練等にも協力頂いています。</p>	<p>定期的に会議を開催し、ホームの運営状況・入居者の生活状況・活動状況・事故報告等を行い、意見交換をしている。意見を反映させて避難訓練状況を写真撮影して便りに掲載する等、サービス向上に活かしている。</p>	
5	4	<p>○市町村との連携</p> <p>市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。</p>	<p>更新時等必要に応じて相談したり情報を交換している。介護保険相談員の受け入れも行い相談にのって貰っています。市主催の研修にも参加させて頂いています。</p>	<p>市担当者とは直接出向いて相談したり指導をもらったりして、協力関係を築いている。福祉の担当者とは、電話やケアプランを通して相談している。年1回介護相談員を受け入れ情報を得るなど、常に連携・協力関係にある。市主催の研修会にもテーマによりそれぞれ職員が参加している。</p>	
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>身体拘束をしないケアについて外部研修に参加したり、内部研修で年2回以上職員間で勉強しています。身体拘束につながる恐れのある方がいる場合はカンファレンスで徹底的に話有っています。</p>	<p>マニュアルを基に、年2～3回状況に応じた研修会を実施し、毎月のカンファレンスでも資料を基に言葉遣いについても勉強会を行っている。ホーム玄関前は交通量が多いため日中は施錠をしているが、外出希望時は見守りや職員と一緒に散歩したりして、拘束をしない支援を行っている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされないよう注意を払い、防止に努めている</p>	<p>虐待防止についても身体拘束をしないケアと同じ状況で勉強しています。</p>		
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。</p>	<p>地域ケア会議で年に数回研修をして頂き参加させて貰いその後内部研修で職員間で共有し必要な方がおられる時は相談にのり活用しています。</p>		
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>管理者が契約時に重要事項説明書・契約書を書面を持って十分な説明を行ない、理解納得してもらっています。</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>運営推進会議にご家族にも参加して頂いたり家族会で意見を出して頂いたり意見交換できる場を設けています。</p>	<p>花見や敬老会を兼ねての年2回の家族会や運営推進会議・面会時・電話等で家族の意見や要望を聞いている。遠方の家族には月1回生活状況を郵送して電話で状況を伝え意見を聞いている。利用者からは日々のコミュニケーションの中で思いを聞き、運営に反映させている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>管理者が常日頃から職員の会話や意見を聞きミーティングで意見要望を改めて聞き代表者と共有し反映できるよう努めています。</p>	<p>管理者は月1回の職員会議や日々のケアの中での職員の会話、各職員のメモ書き、気づきノートなどを集約し、代表者と話し合いケアに反映させている。</p>	
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>勤務表で状況把握し急病急用の為欠勤する方がいた場合直ぐに管理者代表者と職務環境条件の整備に努めています。</p>		
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>職員ひとりひとりにあった外部研修に参加してもらい研修内容を復命書記入の上内部研修で職員間で共有できるようにしています。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>グループホーム協会や包括支援センター等の研修忘年会等に参加させて頂き相互交流を行ない質の良いサービス向上に取り組んでいます。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	<p>利用開始する前に本人ご家族と管理者担当ケアマネと面談カンファレンスを行ない本人に安心感を得て貰えるようにしています。</p>		
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	<p>ご家族の要望意見を十分に聞き信頼関係を築く努力を行なっています。家族ケアにも力を入れています。</p>		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>必要なサービスを必要な時に利用できるよう家族と相談の上居宅療養管理指導、訪問マッサージ、通所リハビリ、訪問歯科等のサービス利用も行なっています。</p>		
18		<p>○本人と共に過ごし支え合う関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	<p>人生の大先輩である事を念頭に置き日々の生活の中で得意とすることを引き出す機会を多く作ることで良い関係を築いています。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		<p>○本人と共に支え合う家族との関係</p> <p>職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている</p>	<p>施設での1ヶ月の生活状況、気になる事等お知らせし面会時にご意見要望を伺い本人と一緒に支えて行くことを実践しています。</p>		
20	8	<p>○馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている</p>	<p>地域の方々に面会や行事への参加をして頂き交流ふれあいをして頂いています。またご家族には墓参りや食事ドライブ等思い思いの場を楽しんでおられます。</p>	<p>家族や親戚の面会時や知人の訪問時等はお茶を出して、ゆっくり過ごしてもらっている。行きつけの理・美容室や墓参り・法事・外食などは家族の協力も得て、関係性が途切れない支援をしている。</p>	
21		<p>○利用者同士の関係の支援</p> <p>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている</p>	<p>孤立する利用者がいないよう職員は常に目配り気配りしながらレク活動を行ないコミュニケーションを図っています。</p>		
22		<p>○関係を断ち切らない取り組み</p> <p>サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている</p>	<p>サービス終了後も病院へ見舞いに行ったり、情報提供をしたり、家庭へ訪問し面会させて頂いたりしてご家族の心の負担が少しでも軽くなればと思います。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	9	○思いや意向の把握  一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	日常生活の中で本人の希望意向を尋ねたり利用者同士の会話に耳を傾け思いや希望を把握できるように努力しています。困難な場合は家族と情報交換しながら検討しています。	日常のコミュニケーションの中で思いや意向を把握している。些細な会話でも思いや意向が表出されるので傾聴している。困難な場合は家族と話し合い表情や態度から本人本位に支援している。	
24		○これまでの暮らしの把握  一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	本人家族主治医ケアマネからの情報収集を参考に生活環境や生活歴を把握し本人の思いや希望を優先に支援しています。		
25		○暮らしの現状の把握  一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	個人の意見を尊重し本人のペースで過ごしていただけるよう支援し毎日のバイタルチェックで健康管理に努めています。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング  本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	ミーティングカンファレンスで個々に応じた意見主治医の意向をとりいれ家族と相談の上モニタリングを実施し介護計画を作成しています。状況に変化があった時は直ぐに介護計画を見直ししています。	利用者・家族の思いや希望を取り入れ、主治医の意見・職員間のカンファレンスを総合的にアセスメントし、現状に即した介護計画を作成している。モニタリングは3ヶ月に1回、6ヶ月に1回見直し、状況変化時はその都度計画を作成している。	



自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>利用者の状態変化に気づき個別ケース記録に記入。カンファレンスで話し合いケアプラン見直しへと実践しています。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>利用者やご家族の要望、突然のアクシデントの時は病院受診の送迎や往診依頼等必要に応じて支援している。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>民生委員の方々に苦情処理委員や運営推進会議委員等協力を頂いています。消防署には消防訓練の立会い救命救急指導をして頂いています。小中学校では生徒に体験学習に来て貰っている。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>24時間安心した医療を受けられるよう主治医と取り決めをしています。緊急の場合以外の受診はご家族の対応となっています。訪問診療、訪問歯科、訪問マッサージ、通所リハビリ等サービスもご家族本人の希望で行なっています。</p>	<p>かかりつけ医の協力医療機関とは24時間体制で緊急時に対応している。月2回の訪問診療があり、適切な医療が受けられるよう支援している。皮膚科や眼科など専門外来受診は家族対応であり、訪問歯科診療・訪問マッサージ・通所リハビリなど、本人や家族の要望を受けて支援している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	普段と違う表情動作に気付いたら直ぐに管理者看護師に報告し主治医と連携をとり早期対応を心掛けています。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院時にサマリーを提供し退院時はサマリーを送付して頂き医療との連携を図っています。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	家族の面会時や家族会等でターミナルケアについて説明し本人や家族の希望等お聞きし施設の方針を説明し理解して頂くようにしています。職員間ではミーティングで話し合い統一したケアを行なうようにしています。	契約時にホームの方針について説明している。状態変化時にその都度、本人や家族と話し合いながら方針を共有した支援をしている。看取り希望があれば対応している。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	消防署の立会の下心肺蘇生のお勉強や消防訓練等を年2回行なっています。小さなヒヤリハットでも大きな事故にならないよう職員はミーティングで話あたり勉強会を開催したりしています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>毎月第3日曜日は自主避難訓練を行なっています。運営推進会議のメンバーにも協力を頂いて一緒に避難誘導等の訓練を行なう事もあります。</p>	<p>年2回消防署指導の下に夜間想定で重症者の毛布での搬送や歩けない利用者の避難誘導など、民生委員の協力を得ながら実施している。心肺蘇生などの講習も行っている。毎月第3日曜日に避難誘導や火災報知機の点検など、自主避難訓練を実施している。非常用として水・米・缶詰・味噌・醤油を備蓄し、トイレトペーパーなども備えている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保  一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	利用者のプライドを傷つけないような声かけの方法を考え実践しています。また更衣時入浴時はプライバシーの保護に気遣っています。	守秘義務に関する書類は職員各自が捺印し保管場所に管理している。毎月事例を提示し勉強会を実施している。入居者のプライドを傷つけない言葉かけや対応に努めている。入室時の言葉かけや入浴時の脱衣所でのバスタオルを使用するなど、羞恥心に配慮した支援もしている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援  日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	利用者の有るがままを受け入れ自分の意思で選択し自己決定できるよう支援しています。誕生日にはリクエストメニューでご自分で食べたいものと考えて貰っています。		
38		○日々のその人らしい暮らし  職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	入所前の生活状況を本人やご家族にお伺いし以前の好きだった事等把握し利用者中心のケアを実施しています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援  その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	訪問美容師に定期的に来て頂きいつでもきれいなヘアスタイルをしています。外出時はご自分で洋服を選んで着ています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	<p>○食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている</p>	<p>ひとりひとりのできる事、好みを生かし配膳係下膳係調理洗い物がかかり等各自役割を持って職員と一緒にこなしています。献立は四季の食材を利用しメニューの紹介をして味わって召し上がって貰っています。食事前は嚥下体操食後は口腔ケアを必ず行なっています。</p>	<p>入所時に本人や家族から嗜好を聞き、アレルギー反応の有無などの情報を得て、献立を作成している。嚥下機能に応じた刻み食やとろみ食などを工夫し、身体能力に応じて、食材の下準備・茶碗洗い・お盆ふきなど、役割分担し職員と一緒にこなしている。食前の嚥下体操、食後の口腔ケアも徹底している。行事食や誕生日食・近隣の店にコーヒー・お茶・ケーキを食べに出かけるなど、楽しめるよう支援している。</p>	
41		<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>食事摂取量水分摂取量は毎回記録し、少ない方に対してはその都度対応しています。献立は栄養バランスを考えて作成しています。毎月体重測定も行なっており増減の把握に努めています。</p>		
42		<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている</p>	<p>食後は口腔ケアを行ない義歯は外して洗浄残歯のある方はご自分で磨き、最後は職員がチェックしています。夜間義歯は預かり消毒を行なう。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	16	○排泄の自立支援  排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	個々の排泄パターンに合わせてトイレ誘導を行なっている。基本排泄はトイレで実施しています。その為に立位、歩行訓練等リハビリ体操は毎日行なっています。	排泄チェック表で排泄パターンを把握し、トイレ誘導している。表情の変化を察知し対応している。日中はリハビリパンツにパットがほとんどで、夜間はポータブルトイレ使用者もいる。失禁がある場合は声掛けを工夫しさりげなく支援している。立位・歩行訓練の結果、つかまり立ちで自らトイレでの排泄ができる等、改善した事例がある。	
44		○便秘の予防と対応  便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	自然排便を心掛けています。食事療法、水分補給、お腹のマッサージを試みています。-3日排便なしの時は前もって主治医より処方して頂いているお薬で調整しています。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援  一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援している	男女混浴にならないよう（脱衣所でも）目配り気配りしてプライバシーの保護に努めております。入浴拒否される方には無理強いせず別の日入浴して頂いています。	基本的には週3回で午後からの入浴支援をしている。1:3で対応し、羞恥心・恐怖心がないように配慮している。入浴拒否時は無理強いしない。失禁時や外出予定がある場合等は、声かけし入浴支援をしている。	
46		○安眠や休息の支援  一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	夜間十分な睡眠をとって頂く為に日中は適度な運動をしたりこちよい程度の疲労感を支援しています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬はすべての職員が把握できるように個人別にファイルにとじいつでも誰でも解るようにしています。変更等があった時は日誌に記録し様子観察を行なう。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	お茶碗洗いの得意な方、拭くのが得意な方、洗濯物たたみ、掃除、ゲーム、歌を歌う、お話するのが好きそれぞれ得意分野をご自分で解っておられスムーズに行動できています。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	桜の花見、コスモス見学、近所のお店でお茶タイム 散歩等職員と一緒に出掛けています。またご家族の協力の下墓参りや外食買い物など出掛けられる事もあります。	日常的には散歩や近隣の店でのお茶タイム、地域行事の夏祭りへの参加、年間行事計画に沿って、弁当注文し家族参加の桜の花見、ドライブを兼ねたコスモス見物、家族と協力しながら墓参りや法事への参加、買い物、外食など、外出できるように支援している。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	外出した際利用者に小銭を渡してご自分の好きなものを買って貰います。家族には毎月お小遣いの明細を送り報告しています。少額本人希望で家族承知の上で持ち持っている方もいます		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>年賀状をご家族に書いて貰っています。代筆者もいます。電話は各ユニットに置いてありご家族と話されている方もいます。</p>		
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>共用の空間に畳の部屋がありテレビを見たりCDで音楽を聴いたりソファに座って傾眠されたりお友達同士でおしゃべりを楽しんだり穏やかに過ごされています。</p>	<p>共用空間は広く、天井が高く光が入りやすい作りになっている。換気・温度・湿度に配慮し臭いもなく清潔が保たれている。ホールから裏庭へ出て外気浴ができる様になっている。玄関入り口には季節の花が植えてあり、玄関内にはお雛様が飾ってある。畳部屋もあり、テレビやソファが置かれゆっくり寛げる空間となっている。壁には各自利用者の写真や行事の時の集合写真・長寿の歌・図示した嚙下体操・筋肉体操などが掲示しており、居心地よく過ごせるよう工夫されている。</p>	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>ホールにソファを設置しておりお友達同士でおしゃべりをしたり、歌を唄って楽しく過ごす方もおり、にぎやかな場所で居眠りしたり、物思いにふけていたりそれぞれ好きな体制で過ごされています。</p>		



自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>各個室には馴染みの物写真やぬいぐるみなどご自宅に近い雰囲気でご家族本人のお気に入りを持って来て貰い飾っています。居心地の良い居室となっています。</p>	<p>居室はベット・タンス・エアコンが設置され、寝具類は持ち込みとなり、配置もそれぞれ工夫されている。使い慣れたリクライニングチェア・テレビ・ぬいぐるみ・家族写真・お祝いの額縁等があり、本人が居心地よく過ごせるような居室となっている。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>玄関ホール洗面所トイレ居室とすべてバリアフリーとなっております。手すりも設置され安全です。トイレや洗面所は解りやすく矢印をしてありご自分でトイレ等行きたい所へ行けるよう工夫してある</p>		

## V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1 ほぼ全ての利用者の
			2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

60	利用者は、戸外に行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
		○	3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
		○	3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1 大いに増えている
			2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)		1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
		○	3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての家族等が
			2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない